

日英若者サポートシンポジウム

主催：愛知教育大学福祉講座

愛知教育大学臨床福祉心理コース 後援：国際公共経済学会

日時：2017年6月21日（水）

11:00～15:30

会場：愛知教育大学第二共通棟422教室

社会的企業は未来を切り開けるか
困難を抱えた子ども・若者に

日本では、子ども若者育成支援推進法に続き、生活困窮者自立支援制度も開始されました。この背景には、若年層の生活課題が複雑化・多様化しているという実態があります。このような現状は日本のみならず、世界各国で起こっており、英国でも例外ではありません。英国は、1990年代以降日本に先駆け、困難を抱える若者の支援に取り組んできました。その中で、社会的企業という形態が新しいものとして誕生してきています。若者に対する雇用を含めた包括的な支援の在り方が模索されており、日英で社会的企業に注目が集まっています。本シンポジウムでは、日英でそれぞれ実践されている方々から、今ある若者の課題とその支援の取り組みを報告して頂き、日英のそれぞれの取り組みから何を学べるのか、検討します。

通訳有

プログラム：

11:00～11:15

趣旨説明及び日英の若者の課題と社会的企業の台頭
岩満 賢次准教授(愛知教育大学)

11:15～12:00

英国の若者支援と「Right Resolution」の取り組み
ウエンディー・バーナーマンさん(ノーサンプトン大学)

12:00～12:30

日本の若者支援と「東三河セーフティネット」の取り組み
金田文子さん(一般社団法人東三河セーフティネット)

13:30～15:30 ディスカッション

<お問い合わせ>

愛知教育大学臨床福祉心理コース（担当：岩満）
kenji-i@aecc.aichi-edu.ac.jp

本事業は、JSPS科研費15K17214の助成を受けたものです。

参加無料
申込不要